

住みつづけられる千代田を 日本共産党千代田区議団だより

発行／日本共産党千代田区議団 九段南1-2-1 ☎ (5211) 4324 FAX (5275) 6898
Eメール jcp-chiyoda@kamogawa.seikyou.ne.jp

2011年は草の根から政治を変える年に



<http://ha3.seikyou.ne.jp/home/jcp-chiyoda/>

神保町交差点での新春宣伝。左から飯島和子、木村正明、福山和夫の各区議、牛尾こうじろう区議団事務局長。(1月4日)

昨年はみなさんの声が区政を大きく前進させました。

党区議団も繰り返し求めてきた「子ども医療費無料化」は全都にさがけて18歳まで拡充されることになり、子育て世代から大変喜ばれています。また、核廃絶・平和への粘り強い取り組みがみのり、区が「平和市長会議」に加入したことは、世界の平和の流れに沿うものです。

さらに、党区議団は、議会改革においても「費用弁償の交通費実費程度への見直し」や「区立小学校解体工事入札時の区議会議員の不正介入疑惑解明」をとりあげ、議員と議会のあり方を正面からただしてきました。

今年は、いつせい地方選挙があり、自治体のあり方と同時に国政の熱い焦点も問われる年になります。消費税の増税、国民健康保険料値上げや介護保険の見直しなどが大きな争点となるでしょう。

このような中で私たち区議団は、みなさんと力をあわせ、2011年を草の根から政治を変える年にするために、全力を尽くします。

2011年 1月

日本共産党千代田区議団

木村 正明

飯島 和子

福山 和夫

事務局長 牛尾こうじろう

国民健康保険料
の値上げ

工事入札への
区議不正介入

第4回定例会
11/16~12/7

問われた 2つの焦点

昨年の第4回定例会では、2つの焦点が問われました。ひとつは、国保料の算定方式の変更に伴う暮らしへの影響です。もうひとつは、公共事業の入札に現職区議が深く関与した疑惑の解明です。

国保料の算定方式の変更でくらしは？

東京23区は4月から国保料の算定方式を変更しようとしています。

低所得者に負担増

現在は住民税にもとづく方式ですが、これを所得額を基礎とする方式へ変更するものです。これにより扶養控除や障害者控除などの反映がなくなります。そのため、中低所得世帯や家族人数の多い世帯、障害者世帯の保険料が大幅値上げとなります。

モデルケースの試算を行っている墨田区では65歳以上の高齢者世帯で現行の63,8

40円から100,453円に36,613円の増額となるなど、約21%の方が負担増になる計算です。

区長会は上げ幅を抑えるための措置を2年間に限り講ずる計画です。しかし、2年後に大幅値上げされることは変わりません。

区民への影響を明らかにせよ

区は算定方式の変更で区民にどんな影響をもたらすのかを明らかにしていません。

板橋区でも、モデルケースで試算をし、区議会や住民にその影響を明らかにしてい

ます。区は住民への説明責任を果たすべきです。

国保料の値上げストップへ全力

改定案は1月の区長会総会で確認し、予算区議会で決める予定です。国保料の値上げは貧困の拡大に拍車をかけることになりかねません。

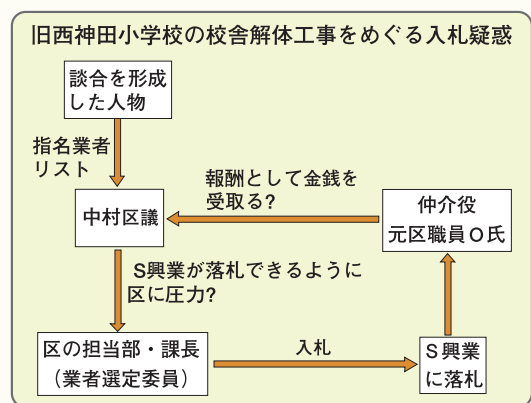
党区議団は区民のみなさんと力をあわせ国保料値上げをストップさせるために全力をあげます。



公共事業の入札をめぐる疑惑の真相解明へ

公共事業の入札に対する中村つねお議員の介入疑惑は、ふたつの核心があります。

第1は区立小学校の校舎解体工事に特定事業者を落札させるため、同議員が業



者選定に関わる担当部長や課長に直接圧力をかけたかどうか、第2に落札した業者から同議員が金銭を受け取ったかどうかです。

党区議団は前定例会につづき、他会派と共同し地方自治法第100条にもとづく調査特別委員会の設置を提案しました。この提案は賛成多数で可決し、千代田区議会史上初の調査特別委員会が設置されました。背景に「疑惑の真相解明」を求める区民の世論の広がりがあることは明らかです。

12月28日の調査特別委員会には、中村議員から圧力を受けたとする、当時の担当課長が証人として証言にたちました。そのなかで、元課長は旧芳林・旧西神田・旧神田小の3校の校舎解体工事に中村議員が介入したと証言。介入の中身と

して、①解体工事の最低制限価格を予定価格の80%に設定するように電話があったこと、②西神田小学校の解体工事では事前に元課長をパレスホテルに呼び出し、「この業者を指名するように」と指名業者のリストを渡したことなどを明らかにしました。

さらに、旧小川小学校の校舎解体工事では内田茂前都議が入札に介入した疑惑や、一連の校舎解体工事の入札に際し談合グループを形成した人物がいた可能性にもふれました。

公共事業の財源は税金です。そこに果食う利権は、税金の不当な吸い上げにほかなりません。それだけに真相解明を曖昧にできません。

みなさんの声を第4回定例会でとりあげ 実現のために力をつくしました

◆マンション耐震診断施策の拡充について

マンション耐震診断では、旧耐震基準マンションの97%が診断を終えているという横浜市の事例に学び「簡易耐震診断制度」を創設することや、耐震診断から耐震改修工事にスムーズにする環境整備として建物の一部補強も助成対象に加えることを提案しました。区からは「生活の基盤であるマンションの耐震性確保の重要性に鑑み、耐震化促進施策の一層の推進を図っていく」との答弁がありました。

◆四番町図書館を読み聞かせができるように機能を充実せよ

四番町図書館の閲覧室の拡充やトイレの改修などの施設の改善を求めました。これに対し、

「四番町歴史民俗資料館の移転を機に、施設の整備・改修を行う必要があると認識し、検討を進めている」との答弁がありました。



四番町図書館

◆介護施設への助成制度の拡充を

地価・物価の高い都心の特養ホームの施設と職員を安定して維持していくために、区独自の「介護保健施設人材確保・定着・育成支援」の拡充・継続を求めました。

◆「学校図書館司書の配置」について

学校図書館を「本の倉庫」にしないためには、本と子どもをつなぐ「専門・専任・正規」職員である司書が必要で、現在は区立小学校に週2回司書が派遣され、効果も検証されています。回数をややし、中学校にも派遣すること、九段中等教育学校後期課程には都立高校同様、正規司書を配置すべきことを求めました。

◆平和市長会議に加盟した自治体として非核平和活動を

2010年は、核兵器廃絶運動が、世界で大きな潮流となった年。区も2020年までに廃絶を目指す同市長会議に加盟し、画期の年となりました。国際署名に区として取り組むこと、政府に非核三原則の法制化や、核の傘からの離脱を働きかけるよう求めました。

◆スポーツができる公園の整備を

「ボール遊びができる公園づくり」は区の課題になっており、09年度に1000万円が予算化されましたが、執行されませんでした。区未利用地の暫定使用の位置づけでなく、スポーツができ、災害時避難場所となる公園として確保するために、本格的な調査検討を行い、検討対象に国有地・都用地も視野にいれることを求めました。

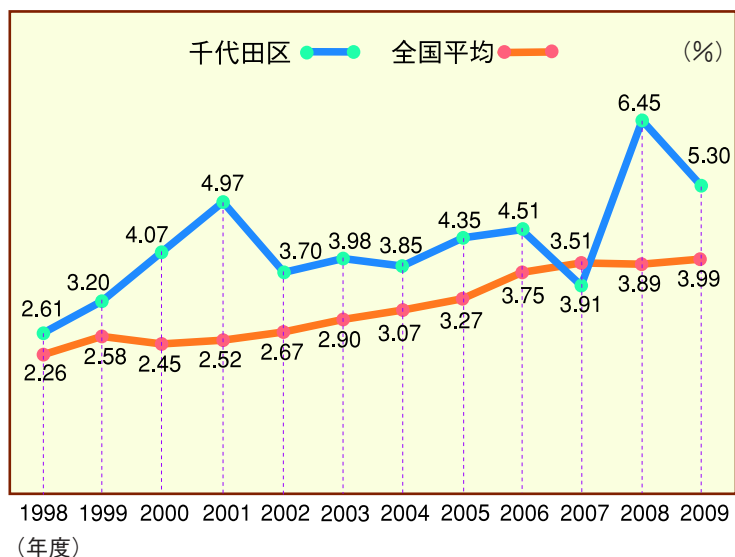


ボール遊びを禁止している区内の公園

◆千代田区の小中学生の気管支喘息、全国平均を大きく上回る

文科省がおこなった2010年度学校保健統計調査の速報値（12月9日）では、喘息を患う児童・生徒の割合が幼稚園、小学校、高校で過去最悪となりました。（※右下グラフ）区の小学生、中学生（中等学校1～3年を含む）気管支喘息疾患児比率は、全国平均を大きく上回っています。原因物質の一つである直径1000分の2・5ミリ以下の超微粒子の問題を取り上げ、現状認識と測定装置の設置を求めました。

小学校気管支喘息被患率



2011年度の予算要望書を提出

党区議団は昨年、11月30日、区民アンケートなどで寄せられた区政への要望や意見を2011年度の予算要望書としてまとめ、石川区長へ提出しました。

予算要望書は、◆区民の尊厳を守る福祉・医療の充実を（55項目）

◆子どもたちの健やかな成長をささえるために（22項目）◆区民が主人公のまちづくりで、安心して

住み・営業がつけられるまちへ（39項目）◆憲法と子どもの権利条約を指針にゆきとどいた教育の実

現を（19項目）◆平和や雇用問題、税金の使い方等（18項目）の計1

53項目です。ご連絡いただければ全文をお届けします。また、区

議団HPでご覧いただけます。

議団HPでご覧いただけます。

2010年
区民アンケート

結果
報告

区民アンケートへのご協力ありがとうございました。
党区議団はみなさんから寄せられた声を区政へ届け、
実現をめざして、みなさんと力を合わせてまいります。
以下集計結果をご報告します。

区政に力を入れてほしいこと

医療・福祉

国民健康保険料の軽減	93
後期高齢者医療保険料の軽減	88
75歳以上の医療費無料化	88
差額ベッド、食事代など保険外負担の軽減	62
高齢者福祉手当の復活	59

●貧富の差の無い公平な医療を受ける事が出来る環境づくりを（30代 男性）
●医療費が高いのでなかなか病院へ行けません。ギリギリまで我慢してしまっているので結局高くて家計がギリギリで預金できないので困っています（40代 女性）
●国保料を半分にしてほしい(70代 男性)

まちづくり・営業

緑化推進	104
駅などバリアフリーのまちづくり	101
地球温暖化・ヒートアイランド対策	97
公園の整備	74
商店街の振興	72

●狭い児童公園ではなく、創造的な行動できる自然がある公園がもっとあったら（60代 女性）
●緑を増やせば気温も下がりヒートアイランド対策になるのでは（50代 男性）
●大きな企業ビルの中に社食やコンビニその他（カフェ・医療）が入っていると街そのものが活性化しないので困る。大きな企業ほど街の活性化を考えてほしい（30 代男性）
●廃校校舎跡に区民住宅や高齢者専用賃貸住宅等を建設し、高齢者の定住策を推進して欲しい（60代 男性）

子育て・教育

保育園・学童クラブの待機児解消	75
図書館の充実	58
遊び場の整備	56
スポーツ施設の増設	54
教育費の負担軽減	49

●孫が区立保育園に入れません。娘は働いていますが、2人目は無理だと言います。なんかどこか変です（60代 男性）
●学校の教師の正規化。雇用が不安定な非正規では責任をもって人間を育てる教育ができないのでは（50代 女性）
●四番町図書館にはゆっくり本を読むスペースがない（60代 女性）

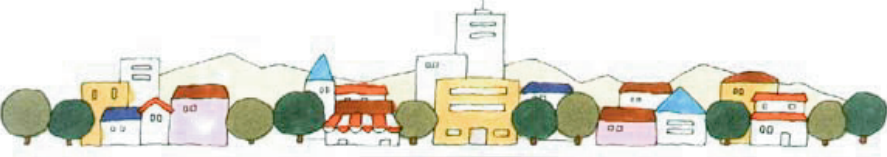
千代田区の魅力は？不満は？

☆千代田区の魅力

- 鉄道が多くどこへでもいける。町がきれいで整備がされている
- 東京のど真ん中にあり、皇居がある
- ワンコインドリームなどは、とてもよいアイディアだと思う
- 神保町の古書店街、小川町のスポーツ店街、秋葉原のアニメ、電気製品など世界に誇れる産業がある
- 他区に比べ福祉が充実している
- 子どもへの補助が厚い（保育園料など）
- 古い物新しい物が混在している。
- 江戸を感じ、又 秋葉原に代表される様な新感覚の町が同居しているところにおもしろみを感じます
- 病院などの施設が近くにたくさんある

☆千代田区の不満なところ

- 日常の買い物が不便である。コンビニばかりでスーパーがないこと
- 物価が高い（大型スーパーがない）区民税が高い。家賃が高い。公共住宅が少ない
- 子供達がボールを使用できる公園がない
- 公園での喫煙。歩きタバコなど喫煙者のマナー
- 固定資産税が高すぎる。古くから住んでいる人をもっと大事にしてほしい
- 昔のような温かい街でなくなってビルばかりで古き良き千代田区が見えなくなりつつあり悲しい
- 空気が悪い。アイドリグストップや歩行禁煙を徹底してほしい。
- この頃は街がきたなくなった。
- 自転車放置。置き方の悪いため通行不便と危険



介護保険制度で見直してほしいこと

特養ホームが足りない	96
保険料・利用料が高い	85
要介護認定が実態に合っていない	54
老人保健施設が区内に無い	46

●自宅で介護する側の負担が多くなり、共倒れになる（60代 男性）
●祖母は奥多摩の養護老人ホームでなくなった。姥捨て山に置きざりにされたようで気の毒だった。区内にもっと特養ホームがあればと思う（50代 女性）
●介護保険料が国民年金から差し引かれ年金額が少なくなり困っています（70代 女性）

法律・生活相談

身近な問題から法律相談まで、みなさんの立場にたって、ともに解決の道をさぐります。
お気軽にご連絡ください。

日本共産党千代田区議団控室（直通）

☎ 03—5211—4324

FAX 03—5275—6898

木村 正明

九段南4-7-22 メゾン・ド・シャルー405
3265-2979
Eメール kimura24@agate.plala.or.jp

飯島 和子

富士見 1-5-3 NTハイム406
3222-7783
Eメール kazuko4685@yahoo.co.jp

福山 和夫

神田小川町2-4フィールドクレストビル10階
3291-0232
Eメール kfukuyama02@yahoo.co.jp

区議団事務局長
牛尾耕二郎

岩本町1-12-12-301
3863-6756
Eメール k-ushio@beetle.ocn.ne.jp